

# パイロン 耐震改修スリット工法 設計施工標準

※各項目の口部分を■チェック、( ) 部分に仕様、数値を記入

## 1. 適用範囲・特記事項

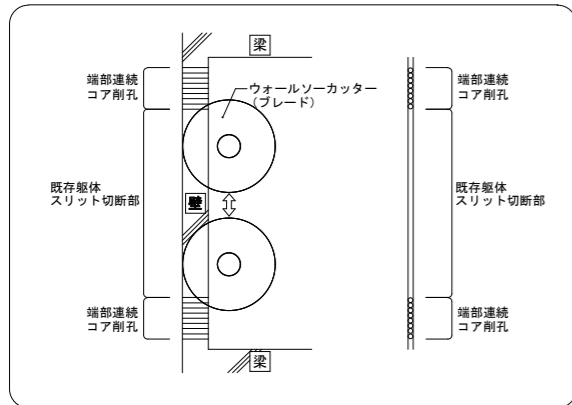
- ・本仕様書は、鉄筋コンクリート造等内、耐震改修スリット工事に適用する。
- ・本仕様書に特記無き事項及び高位の耐火仕様については、設計図書、設計者及び係員の指示に基づく。
- ・スリット材の施工については、設計者及び係員の承諾を得る事。

## 2. 準拠する規基準

- 建築基準法・同施行令  
 耐震改修促進法（建築物の耐震改修の促進に関する法律）・同施行令  
 2007年版建築物の構造関係技術基準解説書（日本建築センター）  
 鉄筋コンクリート構造計算基準・同解説（日本建築学会）  
 建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 鉄筋コンクリート工事（日本建築学会）  
 構造スリット設計指針（日本建築構造技術者協会）  
 構造スリット施工管理マニュアル（建設業協会）  
 2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造の建築物の耐震改修設計指針同解説（日本建築防災協会）  
 既存建築物の耐震診断・耐震補強設計マニュアル2012年版（建築研究振興協会ほか）  
 その他（ ）

## 3. 工事概要

- 鉄筋探査 : ( )  
 配筋探査 : ( )  
 仕上モルタル厚確認 :  要 (厚さ: )  不要  
 仕上・躯体の切断 :  ウォールソーカッター  ( )  
 躯体端部の切断 :  コアドリルによる連続削孔  ( )  
 ※スリット端部の切断は、ウォールソーカッターだけでは切断不良となる。  
 そのため下図のように、スリット端部はコアドリル等で連続削孔し、切断不良を防ぐ。

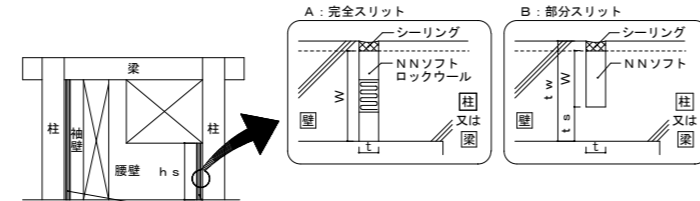


- 鉄筋切断面の防錆措置 :  ( )  
 スリット材挿入 :  完全スリット (  鉛直  水平 )  
 部分スリット (  鉛直  水平 )  
 仕上 :  シーリング  不要  その他 ( )

### 【留意事項】

- コンクリート及び仕上材・塗り仕上・塗装面の保護 :  
 ( )  
 切断後のハツリ作業 :  躯体に悪影響を与えないよう丁寧に  
 ( )  
 切断、ハツリ後の補修基準 : ( )  
 補修方法 : ( )  
 スリット部の壁配筋 :  切断  一部残存 ( )  
 その他特記事項 :  ( )

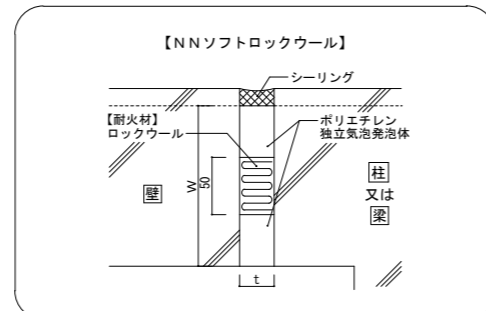
## 4. 共通設計仕様



- スリット施工位置  
 スリットの位置 : 設計図に明記  伏図  軸組図  ( )  
**【A: 完全スリットの場合】**  
 スリット厚さの決定 :  30  スリット長さ (hs) の1/50  
 その他 ( )  
**【B: 部分スリットの場合】**  
 定義 :   $ts \leq tw/2$  かつ  $ts \leq 70$   
  $ts = ( )$  (mm)  
 スリット厚さの決定 :  30  スリット長さ (hs) の1/50  
 その他 ( )

## 5. 完全スリット

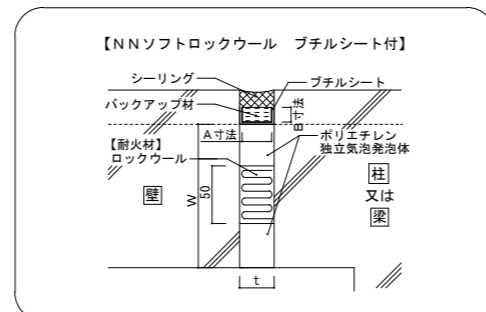
- NNソフトロックウール (耐火タイプ)



- 施工方向 :  鉛直  水平  
 t :  30  35  40  50  ( )  
 W :  ( ) ※W80から5mm毎に対応  
 スリット部の壁配筋 :  切断  一部残存 ( )  
 鉄筋切断面の防錆措置 :  ( )  
 シーリング :  要 ( )  不要  
 その他特記事項 :  ( )

### \*防水タイプ

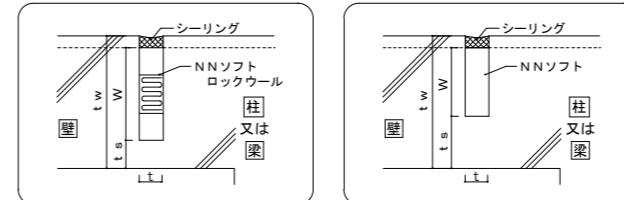
- NNソフトロックウール プチルシート付 (耐火・防水タイプ)



- 施工方向 :  鉛直  水平  
 t :  30  35  40  50  ( )  
 W :  ( ) ※W80から5mm毎に対応  
 プチルシート幅 :  60 ( t30、35用 )  75 ( t40、50用 )  
 粘付バックカー A寸法 :  30  35  40  50  
 B寸法 :  5  10  15  ( ) ※5mm毎に対応  
 スリット部の壁配筋 :  切断  一部残存 ( )  
 鉄筋切断面の防錆措置 :  ( )  
 シーリング :  要 ( )  不要  
 その他特記事項 :  ( )

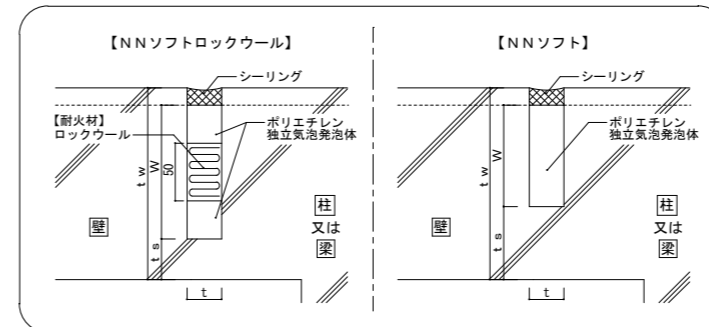
## 6. 部分スリット

- 定義 :   $ts \leq tw/2$  かつ  $ts \leq 70$   
  $ts = ( )$  (mm)



- t s < 70 の場合 :  NNソフトロックウール (耐火タイプ)  
 NNソフト (非耐火タイプ)  
 t s = 70 の場合 :  NNソフトロックウール (耐火タイプ)  
 NNソフト (非耐火タイプ)  
 ※ t s = 70 の場合コンクリートによって1時間耐火性能が認められる。

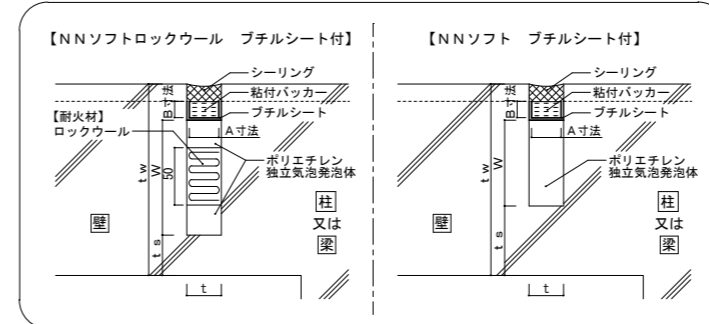
- NNソフトロックウール (耐火タイプ)  
 NNソフト (非耐火タイプ)



- 施工方向 :  鉛直  水平  
 t :  30  35  40  50  ( )  
 W :  ( ) ※W30から5mm毎に対応  
 スリット部の壁配筋 :  切断  一部残存 ( )  
 鉄筋切断面の防錆措置 :  ( )  
 シーリング :  要 ( )  不要  
 その他特記事項 :  ( )

### \*防水タイプ

- NNソフトロックウール プチルシート付 (耐火・防水タイプ)  
 NNソフト プチルシート付 (非耐火・防水タイプ)

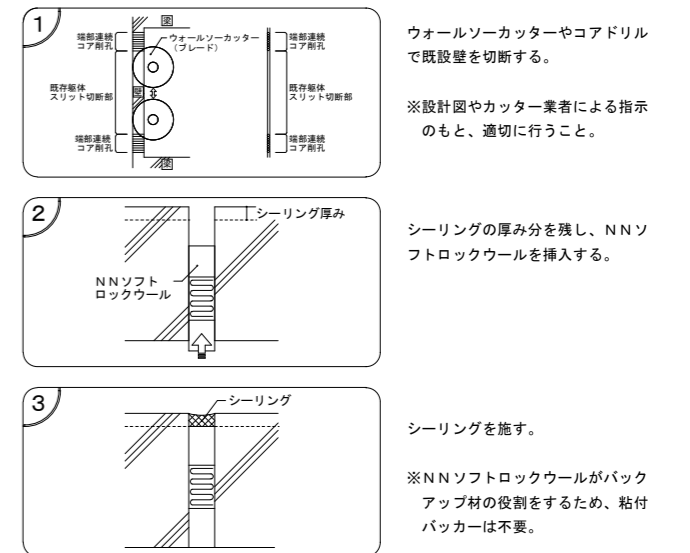


- 施工方向 :  鉛直  水平  
 t :  30  35  40  50  ( )  
 W :  ( ) ※W30から5mm毎に対応  
 プチルシート幅 :  60 ( H30、35用 )  75 ( H40、50用 )  
 粘付バックカー A寸法 :  30  35  40  50  
 B寸法 :  5  10  15  ( ) ※5mm毎に対応  
 スリット部の壁配筋 :  切断  一部残存 ( )  
 鉄筋切断面の防錆措置 :  ( )  
 シーリング :  要 ( )  不要  
 その他特記事項 :  ( )

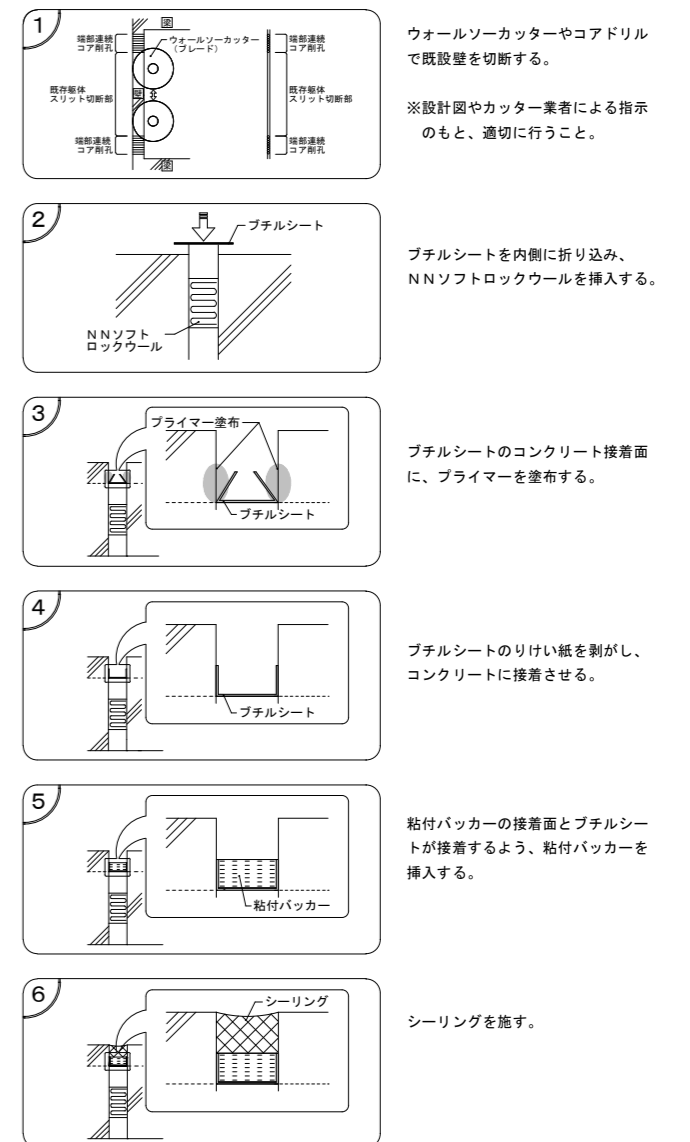
# パイロン 耐震改修スリット工法 施工手順

※完全スリットと部分スリットは同様に施工する。

## ■NNソフトロックウール 施工手順



## ■NNソフトロックウール プチルシート付 施工手順



|    |            |                      |
|----|------------|----------------------|
| 改訂 | 2014/12/   | Ver.1 : 新規作成         |
|    | 2015/03/06 | Ver.2 : 部分スリット詳細追加   |
|    | 2016/06/01 | Ver.3 : 社名変更         |
|    | 2021/11/01 | ホームページリニューアルに伴う軽微な変更 |

パイロン株式会社

〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-33-1 第二東都ビル2F  
 TEL : 03(5305)4322 / FAX : 03(3316)4177  
<https://www.axis-slit.com/pailon/>  
 e-mail: info@pailon.co.jp

|     |             |  |       |          |                       |
|-----|-------------|--|-------|----------|-----------------------|
| 件名  | NNソフトロックウール |  | DATE  | 2016/6/1 | 図面No.<br><b>PNN-1</b> |
| 図面名 | 設計施工標準図     |  | SCALE | A3 : 1/1 |                       |